

第 11 回目

2012 年 8 月 31 日 (金曜日)
18:00 ~ 19:00

元安橋東詰からスタートし本通り、金座街を往復します。毎週金曜に歩きます。

飛び入り歓迎
槍が降ったら中止します

広島 2 人デモ



http://www.inaco.co.jp/hiroshima_2_demo/

調査・文責: 哲野イサク
チラシ作成: 網野沙羅
連絡先: sarah@inaco.co.jp



政府・関電・関西広域連合 「電力不足」大検証

【検証その1】 節電効果ではない

画像は8月21日付け朝日新聞朝刊(大阪本社版)一面トップ記事です。想定を上回る節電があったから、計画停電はしなくて良かった、という記事でほぼ電気事業連合会の発表をそのまま報道したものの、『家庭向け節電関電 16% 減』と見出しが打っており、関電管内では家庭での節電があったから、この夏乗り切れたという印象を強く与えるものとなっています。しかし関電管内では**家庭用の電力消費は全体の 1/3 に過ぎません**。家庭で仮に 16% 節電しても全体からみれば、5-6% の効果しかありません。第一に **2011 年のピーク時最大電力使用はすでに 2784 万 kW** であり、2012 年の最大使用 2681 万 kW と比較すれば、3.6% 減少したに過ぎません。

この朝日の記事では全くそれに触れず、1 昨年 2010 年の福島原発事故発生前の数字と比較しています。つまり節電効果が大きかったとしたいわけです。実際に節電効果が大きかったのではなく、『**今夏最大需要は 3015 万 kW、原発なしでは 15% の電力不足**』という**い方がすでに需要の誇張**だったわけです。節電効果ではありません。政府・関電・関西広域連合の「ウソ」が明らかになったのが真相です。

関電

黙っていたら “YES” と同じ

「国民生活を守る」

– その正当性は雲散霧消

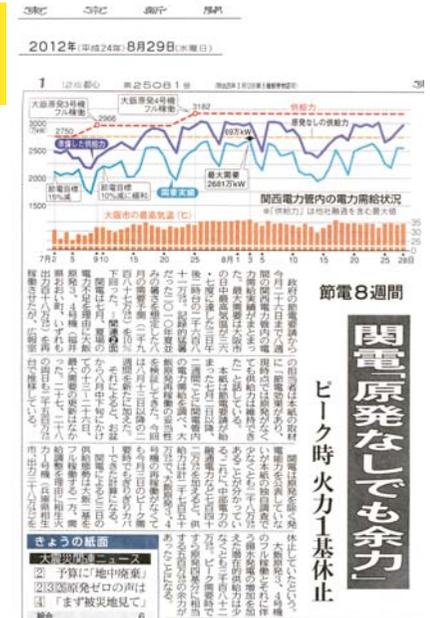
大飯原発再稼働阻止は 私たちの将来を決める 天王山

【検証その2】 供給力過小評価融通電力の力は 1 / 5

朝日の記事は「西日本の融通電力で原発なしでもしのげた可能性が高い」としています。しかしこれもウソです。裏面の表の「他社受電」の項目を見ておわかりのように、実際に融通電力は他社受電のうち 150 万 kW で 22% に過ぎません。実際に関電の需要をまかなったのは、**関電管内の独立系電気事業者から供給される平均 510 万 kW の電力**でした。これら電力供給があることを、当然政府・関電・関西広域連合が知らないはずがありません。8月29日東京新聞(中日新聞東京本社版)は、『**関電「原発なしでも余力」**』と見出しを立てて、朝日新聞ほど電気事業連合会発表そのままの記事ではありません。しかしその東京新聞も節電効果を認め、また関電の原発なしでの発電能力を 2008 万 kW と過小評価し、また他社受電を中部電力などの融通電力中心だとし、**関電が実際に供給能力 3011 万 kW 以上もあったことに触れていません**。

【検証その3】 正当性失う大飯再稼働

6月29日、野田首相は「国民生活を守るため」と称して大飯原発再稼働を決断しました。しかしながら「電力不足」が**でつちあげと判明した以上、再稼働の正当性は全くなくなりました**。ただちに再稼働を中止しなければなりません。政府・関電がウソをついてまで大飯原発再稼働を継続したい理由は明らかです。それは経済界の要請を入れて国民の安全と健康を引き換えに危険な原発の再稼働を次々と行いたいためです。**大飯原発再稼働を阻止することは私たちの将来を決定する試金石**です。



原発除く関電の供給能力 ピーク時 **3,111 万 kW** 以上
 実際最大使用は ピーク時 **2,681 万 kW**

政府・関電・関西広域連合・大手マスコミのウソを今、検証しておく必要があります。
大飯原発再稼働を阻止することは私たちの将来を決定する試金石です。

関西電力 ピーク時電力供給量と内訳 (2012年8月2日から8月29日)

2012年			「最高気温」は関電発表のその日の最高気温				火力発電		水力発電		揚水発電		原子力	他社受電							
			認可最大発電設備能力				1,691		378		442		977	ピーク時	内 非融通	率	融通電計				
日付	曜日	最高気温	ピーク時 供給実績	ピーク時 使用実績	ピーク 時刻	電気 使用率	ピーク時	ピーク時率	ピーク時	ピーク時率	ピーク時	ピーク時率	一定出力				ピーク時	中部	北陸	中国	
8月29日	水	31.3℃	2,896	2,554	14:00	88.2%	1,378	81.5%	241	63.8%	378	85.5%	236	664	505	76.1%	159	76	7	76	
8月28日	火	34.6℃	2,970	2,554	14:00	86.0%	1,378	81.5%	243	64.3%	417	94.3%	236	695	536	77.1%	159	76	7	76	
8月27日	月	34.2℃	2,855	2,554	14:00	89.5%	1,340	79.2%	241	63.8%	357	80.8%	236	680	508	74.7%	172	76	7	89	
8月26日	日	35.2℃	2,729	2,192	19:00	80.3%	1,168	69.1%	222	58.7%	443	100.2%	236	672	468	69.6%	204	165	3	36	
8月25日	土	34.7℃	2,662	2,274	14:00	85.4%	1,138	67.3%	232	61.4%	322	72.9%	236	735	485	66.0%	250	170	24	56	
8月24日	金	32.5℃	3,017	2,505	16:00	83.0%	1,415	83.7%	257	68.0%	411	93.0%	236	697	550	78.9%	147	76	7	64	
8月23日	木	34.5℃	2,945	2,634	14:00	89.4%	1,334	78.9%	257	68.0%	423	95.7%	236	696	549	78.9%	147	76	7	64	
8月22日	水	34.7℃	2,986	2,565	15:00	85.9%	1,370	81.0%	258	68.3%	424	95.9%	236	699	552	79.0%	147	76	7	64	
8月21日	火	34.4℃	2,943	2,549	14:00	86.6%	1,370	81.0%	258	68.3%	391	88.5%	236	688	541	78.6%	147	76	7	64	
8月20日	月	34.8℃	2,984	2,492	15:00	83.5%	1,332	78.8%	254	67.2%	448	101.4%	236	714	554	77.6%	160	76	7	77	
8月19日	日	34.4℃	2,695	2,068	19:00	76.7%	1,095	64.8%	236	62.4%	448	101.4%	236	666	469	70.4%	197	166	2	29	
8月18日	土	34.9℃	2,784	2,326	13:00	83.5%	1,154	68.2%	247	65.3%	408	92.3%	236	739	498	67.4%	241	170	22	49	
8月17日	金	36.5℃	2,741	2,518	15:00	91.9%	1,212	71.7%	245	64.8%	364	82.4%	236	683	555	81.3%	128	65	6	57	
8月16日	木	34.0℃	2,635	2,203	16:00	83.6%	1,178	69.7%	234	61.9%	356	80.5%	236	632	524	82.9%	108	65	6	37	
8月15日	水	32.3℃	2,500	2,004	19:00	80.2%	1,108	65.5%	247	65.3%	353	79.9%	236	558	517	92.7%	41	10	2	29	
8月14日	火	29.7℃	2,379	1,948	19:00	81.9%	1,123	66.4%	244	64.6%	337	76.2%	236	440	413	93.9%	27	10	2	15	
8月13日	月	33.0℃	2,455	2,074	19:00	84.5%	1,170	69.2%	243	64.3%	371	83.9%	236	436	409	93.8%	27	10	2	15	
8月12日	日	34.6℃	2,468	2,066	19:00	83.7%	1,085	64.2%	242	64.0%	432	97.7%	236	473	446	94.3%	27	10	2	15	
8月11日	土	32.7℃	2,786	2,123	15:00	76.2%	1,116	66.0%	238	63.0%	448	101.4%	236	730	489	67.0%	241	170	22	49	
8月10日	金	33.8℃	2,890	2,477	14:00	85.7%	1,303	77.1%	252	66.7%	432	97.7%	236	668	527	78.9%	141	76	6	59	
8月9日	木	34.2℃	2,847	2,434	16:00	85.5%	1,273	75.3%	250	66.1%	424	95.9%	236	664	522	78.6%	142	76	7	59	
8月8日	水	34.6℃	3,002	2,410	14:00	80.3%	1,415	83.7%	252	66.7%	432	97.7%	236	666	524	78.7%	142	76	7	59	
8月7日	火	34.4℃	3,026	2,528	14:00	83.5%	1,435	84.9%	256	67.7%	406	91.9%	236	693	551	79.5%	142	76	7	59	
8月6日	月	36.0℃	3,023	2,625	15:00	86.8%	1,435	84.9%	246	65.1%	448	101.4%	236	659	517	78.5%	142	76	7	59	
8月5日	日	33.3℃	2,488	2,144	17:00	86.2%	1,078	63.7%	234	61.9%	281	63.6%	236	660	457	69.2%	203	164	3	36	
8月4日	土	34.8℃	2,759	2,296	14:00	83.2%	1,195	70.7%	248	65.6%	337	76.2%	236	742	492	66.3%	250	170	24	56	
今夏最高	8月3日	金	36.7℃	2,999	2,681	14:00	89.4%	1,433	84.7%	253	66.9%	357	80.8%	236	719	559	77.7%	160	76	7	77
8月2日	木	36.0℃	2,859	2,650	15:00	92.7%	1,375	81.3%	249	65.9%	402	91.0%	236	696	556	79.9%	140	76	7	57	
ピーク時平均 (量 / 率)			2,797	2,373		84.8%	1,265	74.8%	246	65.0%	395	89.3%	236	659	510	78.1%	150	89	8	53	

夏休み
モード

今夏最高

- 関西電力の「原発」と「新エネルギー」を除くピーク時最大発電能力は、火力、水力、揚水合計2511万kW。(認可発電設備ベース)
- 他社受電は、IPP(独立発電事業者)、自家発電設備などからの契約による購入あるいは余剰電力の購入及び他電力会社からの融通電力。
- 関電は「ピーク時供給力とは、ピーク時に発電できる最大電力のことです。発電設備量とは一致しないにご注意ください。」と説明しているが、これはおかしい説明。もしこの説明が正しいとするなら、土曜日・日曜日は「ピーク時に発電できる最大電力」が、都合良く下がることになる。また現実にも8月9日は、相生発電所2号機(38万kW)、海南発電所2号機(45万kW)同4号機(65万kW)御坊発電所1号機(60万kW)の計208万kWは点検でも故障でもないのに全く稼働していなかった。
- また水力「発電設備量」と「ピーク時供給力」は必ずしも一致しません。」として、流域河川の水量が足りないケースを上げている。しかしこの説明もおかしい。流域河川の「出水率」を明示していない上に、過去1ヶ月間の水力発電量は270万kWから230万kW程度になだらかに下がっている。これは原発3号機・4号機がフル稼働にはいるのと逆比例している。すなわち原発がフル稼働となるにつれ生ずる余剰を水力発電を抑制することで調整していると考えられる。
- 「電気使用率」はその日ピーク時供給量に対する使用量の比率。もともと供給予測をたてて供給量そのものを調整しているものでデータとしては無意味。
- 興味深い現象は、他社受電が一向に減らないどころかむしろ上がっていることだ。需要の下がる土日になると他社受電が上がり、中でも中部電力が突出して上がっている。これは中部電力との契約で中部電力管内の余剰を関電が引き受ける契約になっていることを意味する。また独立発電事業者との契約は恐らく一定量を引き受けるものとなっていると思われる。
- 従って関西電力のピーク時最大電力供給能力は、原発を除く自社発電能力2511万kWに他社受電600万kW以上を加え、確実に3111万kW以上と推計できる。
- 資料出典は関西電力ホームページ「でんき予報」の「過去の使用電力実績ダウンロード」及び「関西電力有価証券報告書 平成23年」